

提案

日付：2022/5/30

件名：町民アンケートの意義

1.問題、課題

町民の思いを知るためにアンケートは良い方法です。ただし、その数字が恣意的に利用されることがなければ。

第3回 家庭から出るゴミと資源に関するアンケート

問4 戸別収集について

1、戸別収集方式がよいと思うところ

集積所の不法投棄がなくなる	87%
集積所の管理の負担がなくなる	79%
ゴミの減量化や分別の徹底がすすむ	72%
集積所のカラスや猫による被害がなくなる	48%

2、戸別収集方式で弊害があると思うところ

カラスや猫による被害対策を自分でするようになる	63%
収集経費がかかる	59%
それ以外は	40%以下

3、戸別収集の実施について、考えに近いもの

費用負担が発生するなら戸別収集は必要ない	43%
戸別収集は必要ない	33%
費用負担してでも、戸別収集は必要	17%
なぜか、単に「戸別収集は必要」の選択肢はない	

このアンケートの中で、3の項目の数字のみを取り出し自治連との質疑の中で、住民の76%が「戸別収集は必要ない」としているという回答をしています。

経費についても、すべて戸別にするのなら、このぐらいの経費、資源ゴミのみの戸別なら、このぐらいの経費、という数字は一切出てきていません。大幅な経費増加というあいまいな表現で、終始しています。

藤沢市では資源ゴミの戸別収集化で増加した経費は5500万円とはっきりだして

います。藤沢市の 1/9 ほどの規模の寒川町で見込まれる経費増加はどのくらいなのか、数字を出してください。それによって住民も費用負担はどのくらいになるのかわかり、そのうえでのアンケートに対する回答を考えることができます。

費用が大幅に増える、相当な負担、収集経費がかかる、たいへんです、というあいまいな言葉で回答を誘導するのではなく、住民が考える根拠となる数字を示してください。

なお、このような提案の後ろには多くの同様に考える方たちの声があることを考えにおいてください。

2.改善案：

可燃ゴミを含めて戸別収集にした場合のみこまれる経費、資源ゴミのみの戸別収集のみこまれる経費、を公表する。

3.改善後の効果：

はっきりした経費、それによる住民負担の増加、戸別収集の利点、弊害を含めて住民がゴミ問題を考えることができる。

回答

<町民アンケートの意義>

【所管：環境課】

日頃より寒川町の環境行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

町では、今後のごみ・資源物の収集方法の検討を行うため、e マーケティング調査のモニターに対して「家庭から出るごみと資源物に関するアンケート」を実施しました。寒川町 e モニター規約において、「本制度は、町政に対する町民各層の率直な声を継続的に聴取し、これを行政上の基礎的参考資料として活用すること及び町民の町政への関心や理解を深めることを目的に実施します」と定めていますが、このような目的で実施した e モニターのアンケート結果を「人それぞれ様々なご意見があります」と前置きした上で、紹介させていただいたところです。

戸別収集の経費につきましては、まず対象とするごみの種類、収集回数などによって経費は大きく異なります。それらを決めて、かつ試験運用をし、戸別収集にかかる時間、必要な車両台数、収集員の人数などが試算できます。また、収集車両が入れない狭い場所がどれくらいあるか、その対応はどうするのかによっても費用は変わってきます。さらにその経費を賄うための指定収集袋の値段や不燃ごみ、可燃粗大ごみまで指定収集袋の使用範囲を広げるかどうかなどを検討し、収集運搬を含めたごみ処理経費のうち、何割を町民の皆さんに負担していただくかによっても大きく違います。

ので、戸別収集に関する経費でお示しできるものではありません。

今後、収集方法の検討の中で試験運用を行った場合には、収集運搬についての町の経費の試算を行っていく予定です。